



学校だより

横浜市立桂台小学校
学校長 渡邊 勉
横浜市栄区桂台南1-1-1
TEL 891-8000

令和3年度 6月号

「世界は誰かの仕事でできている」

副校長 辰野 経

いよいよ運動会が直前に迫ってきました。昨年度は、春に実施することができず秋開催となりましたが、今年度は皆様のご協力のお陰で予定通りの開催を行うことができそうです。また、昨年度の種目に加え、団体競技も実施します。それぞれの種目で子どもたちが一生懸命練習してきた成果が発揮されることと思います。各ご家庭2名までの参観となりますが、応援の程よろしく願いいたします。

さて、表題の「世界は誰かの仕事でできている」という言葉、どこかで聞いたことがあるのではないのでしょうか。実は、某缶コーヒーCMのキャッチコピーに使われた言葉です。CMは、道路工事の仕事をしている人が休憩中にスマホゲームをしているところから始まるのですが、そのスマホゲームのアプリの開発者、その開発者が食べているお弁当、そのお弁当を作っている人、そのお弁当に入っている野菜を育てている農家の人、その野菜を運ぶドライバーの人、そして、その車が走る道路をつくっている道路工事の人（最初に戻る）、というように様々な仕事のつながりを15秒で表していきます。このCMの通り、改めて考えると、私たちの社会は、それぞれがそれぞれの場所で役割を果たして成り立っていると考えられます。一見全く別々に存在しているように感じるそれぞれの仕事ですが、実は様々なつながりをもってこのまちや地域をつくっていると思うと、見方も変わってきます。社会科の学習は、最初、三年生の「まち」を知る学習から始まります。そこから、市や県、日本、世界、過去（歴史）というように段々と学習する範囲は広がっていきますが、この「すべての仕事はつながっている」という考え方は、いずれの学習の中でも関係していくことです。子どもたちにも学びの中で、全ての仕事が、人の営みがつながって世の中が成り立っていることに気づき、社会を見る視点が変わってくれば嬉しく思います。

運動会もきっと「誰かの仕事でできている」と思います。一生懸命走る子どもたちの周りでは、全力で応援をする子たちや、大忙しで得点計算をしている子、走る様子を一生懸命放送で伝える子、必要な用具を全力で準備片付けをする子たち等、それぞれの役割を一生懸命果たして運動会を創る子どもたちがいます。そして、門や会場の様子を見守って下さるPTAの方々、熱い応援をくださる保護者の方々。たくさんの方々を支えてくださって運動会が成り立っていること、そんな一面にも注目して運動会を見ていただくといつもとは違った良さが見えてくるかもしれません。

最高の運動会になることを期待しています。